

# 『岐阜県珈琲文化研究会』

## 設立趣意書

2012年4月19日

|        |  |
|--------|--|
| 目的及び経緯 | <p>ご存知のとおり、岐阜県は、古くから珈琲文化の根付いた土地柄であり、珈琲王国と言えるほど、文化・自然・経済・歴史・技術など多方面において、全国でも秀でた地域であります。</p> <p>さらに、現在岐阜県庁では、岐阜県フードビジネス振興事業の一環で、今年3月に発行の岐阜県加工食品ガイドブックに、全国に先駆けて「コーヒー」を、県産品として取り上げ、産業政策として、珈琲豆の加工・販売の拡大に力を入れ始めています。</p> <p>こうした動きを好機と捉え、岐阜県内において、珈琲豆の加工・販売に携わる方々、また岐阜県で加工された珈琲豆を使用し、店舗等にて珈琲を提供する方々にお集まりいただき、更なる技術向上や珈琲文化の発信、「珈琲王国岐阜県」の全国への普及・知名度アップなどを目指し、今般、岐阜県珈琲文化研究会（仮称）を発足いたします。岐阜県全域の珈琲関係者が一体となって、「珈琲王国岐阜県」を全国ブランドに築き上げ、ひいては観光や経済振興に繋げていければ幸いです。皆さまのご賛同とご協力をお願い申し上げます。</p>  |
| 事業概要   | <p>本会は、2ヶ月に1回程度開催し、日ごろの成果を試す「定例会」と、座学による「勉強会」の2部構成で行う（①、②）。また、岐阜県が珈琲王国であることや本活動を広く認知していただくため、各種広報活動を行う（③、④）。※活動の具体的な内容については、準備会等で議論したいと存じます。</p> <p>①定例会</p> <p>〇〇に合う珈琲：他の県産品をテーマにしたオリジナルコーヒーをメンバーが発表し、珈琲関係者の技術力・発想力を高める。さらには、そのコンテストを公開にて行い、活動内容を一般の方々にも知っていただき、認知度を高めていく。</p> <p>《例》</p> <p>第1回目は、5月末に、織部焼をテーマにする。<br/>第2回目は、7月末に、スイーツをテーマにする。<br/>第3回目は、9月末に、（岐阜市のイベントと共催を調整中）<br/>第4回目は、11月末に、郡上味噌、ケイチャンなど<br/>第5回目は、1月末に、未定<br/>第6回目は、3月末に、未定</p> <p>②珈琲文化振興</p> <p>市民講座「珈琲大学」を設置し、座学により、各会員の珈琲に対するこだわりや研究成果を発表し、時には外部講師を招き最新の動向や技術を学ぶ。</p> <p>③特別会（イベント）</p> <p>年に数回、「珈琲王国岐阜県」を県内外にアピールするイベントを行い、認知度を高める。</p> <p>④広報活動</p> <p>会員募集やイベント告知を行うコーヒーのポータルサイト「珈琲図書館」の制作、珈琲の観光マップ「珈琲日和」などの情報提供、チラシの配布、ステッカーの配布・掲示など、継続的に広報活動を行う。</p> |

|      |   |
|------|---|
| 会の運営 | <ul style="list-style-type: none"><li>① 会員の募集<br/>今回の参加者全員を発起人とし、知り合い等に声をかけるほか、各種広報誌等を活用して広く告知。</li><li>② 会員区分<br/>焙煎事業者、小売事業者、喫茶店経営者、コーヒー関係者など</li><li>③ 運営経費<br/>会費は当面无料とし、毎回実施にかかる実費を徴収。</li><li>④ 役員等<br/>発起人の中から代表、副代表、会計等を選出。</li><li>⑤ 行政の支援<br/>県は共催という形で参加。定例会のテーマとなる県産品の選定、手配、定例会会場の提供、会員募集や研究会運営のサポート等を行う。</li></ul> |
|------|---|